導なども実施している。

奈諸美 議員

(あすなろ)

学校の教室

観光協会が、

昨年度、

能登MaaS

七尾市も参画している。

今年度は、2月に勉強会を開催す

七尾市も、そういった機会に参 、今後役立てていけるように研

研究会を組織し、勉強会を開催した。

ないが、一般社団法人能登半島広域

MaaSについて研究してい

木戸

していきたい。

電話相談や中学生を対象とした通室指

次の2点について伺う。

にしていきたいと考えている。

そこで

般質問

■不登校対策について

教育現場での取組みは?

安心して学び育つ環境が整った七尾市 互いに協力していくことで、子どもが 七尾市、 子育てや教育に関わる方々が 学 校、 フリースクール等の民間団体、

①令和2年度と令和3年度の不登校児 組みについて ②不登校児童に対する教育現場での取 童数と傾向について 1名、中学校42名で、小中学校とも令和3年度は10月末現在で、小学位が2名、中学校が54 ロッ学校が54 ロッ学校が54 ロッチを検え

用して相談体制の充実を図り、 を派遣し、組織的かつ専門チームを活 めの段階から保護者と連絡を密にし対 早期発見・早期対応のため、 校づくりを推進し、 七尾市教育相談センターわかたけでの 応を進めている。 ②未然防止の対応として、 に増加傾向にある。 全小中学校にスクールカウンセラー 絆づくりに取り組むとともに、 児童生徒の居場所 魅力ある学 休みはじ さらに、

づくり、

校19名、

●令和3年10月末現在の不登校児童数

聞かれる。

住民のため、

七尾市を訪れる方の

ない。不便さを痛感するとの苦情が 行ったら、そこから奥能登へは行け

增加傾向

難民になる。また、ひとり暮らしの

難民になる。

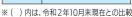
さらに、買い物

運転免許証を返納すると移動

孤独感にさいなまれる。

観光客からは、のとじま水族館に

小学校 19名 (7名增) 42名 (8名增) 中学校



ため、

MaaSを一緒になって考え

状を伺う。

現在、

七尾市において独自に

ていただきたいが、

取組んでいる現

・魅力ある学校づくり

スクールカウンセラーの派遣

取組みの現状は?

思いを伺う。

が、

取扱い量は減少傾

向にあり

七尾港の主要貨物は木材・石炭だ

と思う。会長として七尾港振興にかける 組み臨めば、必ずやその思いは達成する い信念を持って地元企業等とスクラムを

夢を描き、その夢を実現するという強

七尾市教育支援センターわかたけ etc.

MaaS (マー 導入について

ス)次世代移動サービスの研究

般質 醅



議員



瀬戸

MaaS (マース:Mobility as a Service)

地域住民や旅行者の一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性の向上や地域の課題解決に資する手段 となるもの。



永崎 陽 議員 (新政会)



七尾港

ジャー

あらゆる可能性を否定せずに検討を行い、 会を立ち上げ七尾港の利活用を模索して 取り巻く環境は非常に厳しい。 ノセールスを行い展開していきたい。 保、七尾港の整備促進など、しっかりト おり、この議論の結果も参考にしながら、 の担当部署からなる七尾港を考える勉強 七尾港の活性化につなげていきたい。 また、地元経済界との連携やマリンレ そのような中、 クルーズ船の寄港や新たな貨物の確 等関係協力団体の協力を得なが 石川県の関係部署と市

現在の七尾港に関する要望事項

- 大田地区国際物流ターミナルにおける航路の水深 13mの早期実現
- 矢田新地区における緑地整備事業の支援



般質問

■七尾港の振興について

七尾港振興にかける思いは?

展することを願う。 協議会会長を務めているが、実のある協議会として発 令和3年4月から茶谷市長が七尾港整備・振興促進 七尾港は天然の良港として古くから交通や産業 の要所として七尾市とともに発展を遂げてきた。